

| 科目名 | 小児看護学演習Ⅲ pediatric Nursing SeminarⅢ | | 担当教員 (研究室番号) | 宮崎つた子(207) 前田 貴彦(206) | | 教員への連絡方法 (メールアドレス) | 宮崎:tsutako.miyazaki@mcn.ac.jp 前田:takahiko.maeda@mcn.ac.jp | | | | | |
|---------------------------|---|--|-----------------|--|-----------|-----------------------|--|-----------|----------|----|------------|---|
| 履修 年次 | 1年次 後期 | 科目 区分 | 専門科目 | 選択 区分 | コース 必修 | 単位数 (時間) | 2(30) | | 授業 形態 | 演習 | 科目等 履修生 | 否 |
| | | | | | | | 遠隔授業 | 否 | | | | |
| 科目 目的 | ハイリスク新生児と家族、重症心身障害児とその家族に対し、効果的な看護援助を提供するための、具体的な方法やその課題について文献検討を通して探究し、子どもと家族の健康問題を解決するための看護実践能力を養う。 | | | | | | | | | | | |
| ディプロ マ・ホリ ン (DP) | 主要なDP | 3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。 | | | | | | | | | | |
| | 関連する DP | 1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。 | | | | | | | | | | |
| 到達 目標 | ハイリスク新生児と家族の特徴とその看護援助について理解し、記述することができる。 重症心身障害児と家族の特徴とその看護援助について理解し、記述することができる。 | | | | | | | | | | | |
| 成績評価方法 (基準) | レポート、プレゼンテーション、ディスカッションへの取り組み。 レポート(40%)、プレゼンテーション(50%)、授業への取り組み姿勢(10%) | | | | | | | | | | | |
| 教科書 | 特に指定しない。 | | | | | | | | | | | |
| 参考書等 | 適宜紹介する。 | | | | | | | | | | | |
| 受講者への メッセージ | 自己の研究課題に関連する文献(和文・英文)を積極的に講読し、活発な討論を期待する。 | | | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | | | | |
| 回 | 学習項目 | | | 学習内容 | | | | 主担当 教員 | 授業 方法 | | | |
| 1回 | 小児の倫理的問題① | | | 小児医療・小児看護における倫理的問題について概説する。 (倫理的問題を検討するための方法) | | | | 宮崎 前田 | 講義 | | | |
| 2回 | 小児の倫理的問題② | | | 様々な背景をもつ子どもと家族の倫理的問題について整理・検討する。 | | | | 宮崎 前田 | 演習 | | | |
| 3回 | 小児の倫理的問題③ | | | 臨床場面で経験した倫理的問題を解決するための看護援助を探求する。 | | | | 宮崎 前田 | 演習 | | | |
| 4回 | ハイリスク新生児の子どもと家族の看護援助① | | | ハイリスク新生児の特徴と看護援助、NICUにおける看護の特徴について概説する。 | | | | 宮崎 前田 | 講義 | | | |
| 5回 | ハイリスク新生児の子どもと家族の看護援助② | | | 生命の危機的状態で集中治療を受けている子どもと家族の特徴と看護援助、人工呼吸器管理中の子どもへの看護援助について探求する。 | | | | 宮崎 前田 | 演習 | | | |
| 6回 | ハイリスク新生児の子どもと家族の看護援助③ | | | 小児救急医療・看護の現状と課題および看護師が担う役割について理解を深める。本内容は、小児救急医療・看護を専門とする者を招聘する。 | | | | 宮崎 前田他 | 演習 | | | |
| 7回 | ハイリスク新生児の子どもと家族の看護援助④ | | | 子どもの一次救命処置の内容(BLS)、二次救命処置の内容(PALS)について理解を深め、看護師が担う役割について検討する。本内容は、小児救急医療・看護を専門とする者を招聘する。 | | | | 宮崎 前田他 | 演習 | | | |
| 8回 | 終末期にある子どもと家族の看護援助① | | | 終末期にある子どもと家族に及ぼす影響や問題、その問題を軽減・解決するための看護援助について概説する。 | | | | 宮崎 前田 | 講義 | | | |
| 9回 | 終末期にある子どもと家族の看護援助② | | | 終末期にある子どもと家族について、情報の分類とアセスメントを行い、抽出された問題について検討する。 | | | | 宮崎 前田 | 演習 | | | |
| 10回 | 終末期にある子どもと家族の看護援助③ | | | 終末期にある子どもと家族の特徴、終末期にある子どもと家族の現状や課題について理解を深める。 | | | | 宮崎 前田 | 演習 | | | |
| 11回 | 終末期にある子どもと家族の看護援助④ | | | 終末期にある子どもと家族の援助について、看護師の役割および具体的な看護援助について探求する。本内容は、小児の終末期看護経験者を招聘し講義を受ける。 | | | | 宮崎 前田他 | 演習 | | | |
| 12回 | 重症心身障害児と家族の看護援助① | | | 重症心身障害児と家族に及ぼす影響や問題、その問題を軽減・解決するための看護援助について概説する。 | | | | 宮崎 前田 | 講義 | | | |
| 13回 | 重症心身障害児と家族の看護援助② | | | 重症心身障害児と家族について、情報の分類とアセスメントを行い、抽出された問題について検討する。 | | | | 宮崎 前田 | 演習 | | | |
| 14回 | 重症心身障害児と家族の看護援助③ | | | 重症心身障害児と家族の現状や課題について理解を深める。 | | | | 宮崎 前田 | 演習 | | | |
| 15回 | 重症心身障害児と家族の看護援助④ | | | 重症心身障害児と家族への具体的な看護援助について探求する。 | | | | 宮崎 前田 | 演習 | | | |